

同窓会の皆様こんにちは。新しい希望の未来が広がる、令和元年がスタートいたしました。

生産現場では、トラクター等におけるGPS自動操舵の普及が進んできています。また、ドローンでの有効利用等も研究が盛んで、いわゆるICTを利用しての先進技術の進歩には、目覚ましいものを感じるどころです。

全国の府県には農業大学校があります。学校では自営農業者の担い手の入学者数が減る中で、非農家の入学者が増加し、その内女性



北海道立農業大学校同窓会

会長 津島 朗

の入学者が特に増加傾向にあります。このことは、先進技術の進歩や農業への魅力が高まっているためと思われる。

全国の農業大学校の特徴の一つに全寮制がありますが、そのことが不人気の要素であったために、その全寮制を廃止にした学校、または寮を一人部屋にしたことにより人気が出た農業大学校も存在しています。

昨年の九月六日に、北海道で日本初の地震によるブラックアウトがありました。今年は東日本全域で台風による大規模な浸水や停電



聖鋤会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会

〒089-3675
中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
FAX 0156-24-2421
編集 事務局

が起きてしまいました。災害のたびに想定外の被害が発生していると言われています。

近年、農業の場面でも、五十年百年に一度の異常気象と言われることが度々ありますが、もはや、干ばつ、豪雨、高温の異常気象は地球規模で恒常化しているとさえ感じられます。

食料自給率が四十%切る位の我が国で、最低の食料生産を守ることは重要です。

さらに自然災害だけの心配でなく、米中関係、日韓、米露、中東、欧州の様々な出来事により、世界が不安定に向かいつつあるように感じる中で、食糧の安定供給に「想定外でした」の言葉はあつてはならないことから、国に対してしっかり助言をして、安定生産をしていくことが我々の責務であり、やりがいと思われれます。

今年度は三年に一度の総会があります。同窓生の方々と情報交換、または励ましあう事ができれば幸いです。皆様方の沢山の出席をおまちしております。

北海道立農業大学校同窓会総会

令和2年1月25日(土曜) 16:30～ 総会 北海道立農業大学校会議室
18:00～ 懇談会 本別温泉グランドホテル

3年に1回開催している総会です。併せて懇親会も開催します。ご多用とは存じますが、多くの会員のみなさまに出席頂けるようお願いいたします。詳細は同封のご案内をお読み頂き、FAXか郵便にてお申込みをお願いします。



北海道立農業大学校

校長 赤池 政彦

日ごとに朝晩の寒さが増し、秋の深まりと冬の始まりを感じる季節となりました。同窓会の皆様にはお元氣にご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の運営に多くのご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年の北海道は、昨年のような大きな地震や気象災害はなく、各作物とも概ね順調に推移し、豊穣の秋を迎えることができ、また本校におきましても作柄が確保され、野菜即売会や農大市など学生主体でのイベントによる収穫の喜びや販売を通じた消費者との交流を感じながら、ほ場実習もほぼ終了したところであります。

学生の様子ですが、今年四月に入校した一年生は、農大での学校生活や寮生活、そして一ヶ月間の体験学習を経て逞しさを感じておりま

すし、二年生は現在、プロジェクト実績発表に向けた準備と来春の卒業論文の取りまとめにと忙しく過ごしております。

本校は次代の農業及び農村を担う優れた農業者や指導者という人材を育成するために、農業の知識や技術の習得のみならず、農業を営んでいく上で必要な課題解決能力を身につけていくという方針の下、「実践教育」「先進教育」「全寮制教育」を主体として取り組んでおり、これまで設立・開校して七十三年の歴史の中で五千人を超える卒業生が農業者のリーダーとして道内などを主に活躍されております。

ご案内のとおり、北海道農業・農村を巡る情勢は、TPPやEPA、日米貿易協定などの経済のグローバル化の動き、国内的には地域の農家戸数の減少や高齢化の進行、

労働力の不足といった課題があるなど、国内外ともに置かれている環境がこれまでと大きく変化してきております。

そういった中において、持続的に北海道農業・農村が発展していくためには、その時代時代の変化に的確に対応でき、幅広い視野と豊かな創造力を持った人材の育成と確保が急務となっており、農業者をはじめ、道民の皆様からの本校に対する期待はこれまで以上に高まるものと考えております。

このため、学生のやる気を伸ばしながら、問題に直面したときに課題として認識し、状況の分析や解決策を自ら考えて行動できるよう、教育・研修を体系的かつ計画的に実施するなど、本校における教育機能の充実・強化に職員一同全力を挙げて取り組んでいく所存でありますので、同窓会の皆様におかれましては、本校の運営に対し、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

期別活動

研究八・九期生同窓会

幹事 川瀬 徹也

平成三十年十二月一日、十勝川温泉第一ホテル豆陽亭にて同窓会を開催しました。

天候が悪い中、八期三名・九期三名、職員の方二名と皆さんお忙しい中集まって頂き、実に五年振りの開催となりました。



30年12月1日 研究8・9期別同窓会 於十勝川温泉第一ホテル豆陽亭

研究科を卒業してから十年の月日が経ち、しかも五年振りとなりますと皆さんとの会話もとても盛り上がりました。十年という歳月は卒業生の皆さん、それぞれの志す農業の想いが形となっており『一国一城の主』になっているなと感じました。それでも、相変わらずなどところも多々あり当時の卒業アルバムを見ながら、和気あいあいと笑い話や時にはこれからの北海道農業の事など真面目な話を夜中まで、一泊では語り尽くせないくらい続きました。個人事ではありませんが、私は改めて農大で仲間や職員の方々と出会うて本当に良かったなと思ひ、今回の同窓会も一つの心の糧となりました。

次回、開催するときは八期・九期、職員の方々全員が集まり、二泊ぐらいじゃないと納まらないくらいワイワイ盛り上がった同窓会にしたいと考えています。



農講第23期生 同期会 令和元年7月12日 於 悠林館

農講二十三期生同期会五十年
幹事 成瀬 耕治

令和元年七月十二日に初夏の爽やかな風が吹く、佐呂間町サロマ

湖畔の悠林館にて農業講習所第二十三期生の同窓会が開催されました。

今回の開催は二年ぶりとなり、北海道各地から三十八名がサロマ湖悠林館に集まりました。今年で農業講習所を卒業して五十年目の節目を迎えました。

幹事の挨拶で同窓会の懇親が始まり、五十年ぶりに再会する仲間もいて、大いに盛り上がりました。特に農業講習所時代の学生生活や自家経営、そして孫の話など話題に尽きることはありませんでした。

同窓会の閉会は、佐藤弘さん(阿寒町)の発声で万歳三唱が行われ、次回は二年後に阿寒町で開催することになりました。

最後になりますが、同窓会の皆さんには、お体に気をつけて頂き、二年後にまた元気な姿でお会いできることをお願い申し上げます。

農業大学校の主な行事

入校式を挙

四月八日、養成課程五十九名、研究課程十名、研修部門九名の計七十八名が北海道農業の担い手を目指してスタートしました。



在校生代表の歓迎のことは



北海道農業の担い手 養成課程46期



最後尾は誰でしょう!



スタートはみんな元気です

強歩大会

晴天の中、元気に完走

第五十二回強歩大会が五月二十四日に行われ、体力と忍耐力を養いました。



76団体の出展がありました。



体育館で実施、皆真剣です!!

キャリアアサポート

就農相談を開催

近年、非農家学生や道外からの入校生が増加しています。これにより、雇用就農を希望する学生が増えていくため、昨年度から実施しています。

事務局からのお知らせ

- 1 住所の変更について
引越等、住所が変更になった場合は、FAXで同窓会事務局までお知らせください。
- 2 支部活動・同期活動助成について
支部活動及び期別活動を計画された際には、諸経費の一部を助成します。また、活動の様子は会報で紹介させて頂きま

- 3 その他
平成三十一年三月八日(金)卒業式にて、畜産経営学科、畑作園芸経営科、稲作経営専攻コース、農業経営研究科の卒業生六十三名が、同窓会に入会しました。

期別世話役

期別	世話役名	期別	世話役名	期別	世話役名
農講1	鈴木一義 (別冊町)	農大6	日尻 純一 (更別町)	研究1	吉田 和浩 (旭川市)
農講2	鈴木一義 (別冊町)	農大7	渡邊 基樹 (京極町)	研究2	大江 博之 (岩見沢市)
農講3	鈴木一義 (別冊町)	農大8	柳澤 宏樹 (京極町)	研究3	六戸 聖 (岩見沢市)
農講4	鈴木一義 (別冊町)	農大9	嶋真一也 (八雲町)	研究4	平嶋 明 (当別町)
農講5	鈴木一義 (別冊町)	農大10	鈴木 隆也 (八雲町)	研究5	水嶋 淳 (岩見沢市)
農講6	鈴木一義 (別冊町)	農大11	中澤光太郎 (置戸町)	研究6	伊藤 優治 (岩見沢市)
農講7	鈴木一義 (別冊町)	農大12	今野 大和 (別冊町)	研究7	水嶋 淳 (岩見沢市)
農講8	鈴木一義 (別冊町)	農大13	今野 大和 (別冊町)	研究8	石川 英樹 (沼田町)
農講9	鈴木一義 (別冊町)	農大14	佐藤 貴文 (浦幌町)	研究9	伊藤 優治 (岩見沢市)
農講10	鈴木一義 (別冊町)	農大15	佐藤 貴文 (浦幌町)	研究10	岡村 博徳 (旭川市)
農講11	鈴木一義 (別冊町)	農大16	森山 秀幸 (千歳市)	研究11	平 隆之介 (旭川市)
農講12	鈴木一義 (別冊町)	農大17	森山 秀幸 (千歳市)	研究12	吉見 拓也 (雨竜町)
農講13	鈴木一義 (別冊町)	農大18	森山 秀幸 (千歳市)	研究13	吉見 拓也 (雨竜町)
農講14	鈴木一義 (別冊町)	農大19	森山 秀幸 (千歳市)	研究14	吉見 拓也 (雨竜町)
農講15	鈴木一義 (別冊町)	農大20	森山 秀幸 (千歳市)	研究15	吉見 拓也 (雨竜町)
農講16	鈴木一義 (別冊町)	農大21	森山 秀幸 (千歳市)	研究16	吉見 拓也 (雨竜町)
農講17	鈴木一義 (別冊町)	農大22	森山 秀幸 (千歳市)	研究17	吉見 拓也 (雨竜町)
農講18	鈴木一義 (別冊町)	農大23	森山 秀幸 (千歳市)	研究18	吉見 拓也 (雨竜町)
農講19	鈴木一義 (別冊町)	農大24	森山 秀幸 (千歳市)	研究19	吉見 拓也 (雨竜町)
農講20	鈴木一義 (別冊町)	農大25	森山 秀幸 (千歳市)	研究20	吉見 拓也 (雨竜町)
農講21	鈴木一義 (別冊町)				
農講22	鈴木一義 (別冊町)				
農講23	鈴木一義 (別冊町)				
農講24	鈴木一義 (別冊町)				
農講25	鈴木一義 (別冊町)				
農講26	鈴木一義 (別冊町)				
農講27	鈴木一義 (別冊町)				
農講28	鈴木一義 (別冊町)				
農講29	鈴木一義 (別冊町)				
農講30	鈴木一義 (別冊町)				
農講31	鈴木一義 (別冊町)				
農講32	鈴木一義 (別冊町)				
農講33	鈴木一義 (別冊町)				
農講34	鈴木一義 (別冊町)				
農講35	鈴木一義 (別冊町)				
農講36	鈴木一義 (別冊町)				
農講37	鈴木一義 (別冊町)				
農講38	鈴木一義 (別冊町)				
農講39	鈴木一義 (別冊町)				
農講40	鈴木一義 (別冊町)				
農講41	鈴木一義 (別冊町)				
農講42	鈴木一義 (別冊町)				
農講43	鈴木一義 (別冊町)				
農講44	鈴木一義 (別冊町)				
農講45	鈴木一義 (別冊町)				
農講46	鈴木一義 (別冊町)				
農講47	鈴木一義 (別冊町)				
農講48	鈴木一義 (別冊町)				
農講49	鈴木一義 (別冊町)				
農講50	鈴木一義 (別冊町)				
農講51	鈴木一義 (別冊町)				
農講52	鈴木一義 (別冊町)				
農講53	鈴木一義 (別冊町)				
農講54	鈴木一義 (別冊町)				
農講55	鈴木一義 (別冊町)				
農講56	鈴木一義 (別冊町)				
農講57	鈴木一義 (別冊町)				
農講58	鈴木一義 (別冊町)				
農講59	鈴木一義 (別冊町)				
農講60	鈴木一義 (別冊町)				
農講61	鈴木一義 (別冊町)				
農講62	鈴木一義 (別冊町)				
農講63	鈴木一義 (別冊町)				
農講64	鈴木一義 (別冊町)				
農講65	鈴木一義 (別冊町)				
農講66	鈴木一義 (別冊町)				
農講67	鈴木一義 (別冊町)				
農講68	鈴木一義 (別冊町)				
農講69	鈴木一義 (別冊町)				
農講70	鈴木一義 (別冊町)				
農講71	鈴木一義 (別冊町)				
農講72	鈴木一義 (別冊町)				
農講73	鈴木一義 (別冊町)				
農講74	鈴木一義 (別冊町)				
農講75	鈴木一義 (別冊町)				
農講76	鈴木一義 (別冊町)				